

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6年 3月 20日

事業所名 アイリスクラブ玉造

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		既定の広さは満たしており、フロアの広さの確保、個室の確保の為、倉庫を設置、整頓に努めています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準人員は満たしており、一人ひとりの様子に合わせた関わりができるよう配慮しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差等もなく、トイレには、手すりを設置しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝終礼で目標設定と振り返りを実施しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			頂いた内容をもとに環境や方針を振り返り、改善していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		社内で内部監査を実施しています。	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に勉強会を実施しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		一人一人の子供に対する支援方法を会議で共有しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		社内規定のアセスメントシートを利用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		朝礼時全員で話し合い、利用児童に応じて立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		スタッフ一人ひとりがレクリエーションを考えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		時間に応じてレクリエーションや机上課題などを設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動と集団活動での様子を踏まえたうえで、支援計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時に全員で決定しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		利用していたすべての児童の様子を終礼時に共有し、記録しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の様子を朝終礼で共有しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		3か月ごとに中間モニタリングを実施しています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		スタッフ間で協議しながら、複数組み合わせるように努めています		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者またはマネージャーが参加し、得た情報を全スタッフに情報共有、周知しながら統一した対応を行っています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校訪問や支援学級との情報共有を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現状医療的ケアが必要な方の利用はないが、今後必要な場合は関係機関との連携に努めていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		園連携や学校連携等に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		保護者様や卒業後通う施設から要請等あれば、積極的に情報提供を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所や相談支援事業所等との連携に努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		外部イベントの開催を検討し、積極的な交流を心がけていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		日程調整をし、参加に心がけていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		成長している点と、課題となる点を織り交ぜ、日々伝えています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		個別療育や送迎時のフィードバック等でお伝えできるよう努めています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		職員間でも共有して、共通理解に努めています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		時期を見て父母の会や保護者会の開催を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		普段から何かあれば相談いただくよう説明を行い、申し入れがあった際はその都度対応するようにしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		おたよりを月一回交付しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		カギの付いた書庫に保管しており、持ち出す際も名前を消す等、十分に気を付けて取り扱っています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子様や保護者様に伝わりやすいよう伝え方や方法には配慮を行い、言葉だけではなく、絵カード等も用いながら、伝えています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		外部イベントの開催を検討し、積極的な交流を心がけていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		避難訓練を月一回行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		必ず月に一度火災や地震を想定した避難訓練を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現在、身体拘束が必要な対象児童がいないが今後必要であれば事前に説明を行い、別支援計画への記載も行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者との情報共有を行い、対応させていただいております	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		週に一回以上作成しています。	